

○現状の取組とりまとめ表

1)ハード対策の主な取組

■洪水を安全に流すためのハード対策

具体的取組	目標時期	仙台区 气象台	宮城 県	気仙 沼市	南三 陸町
<青野沢川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<只越川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<鹿折川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<大川*> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<面瀬川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<沖ノ田川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<津谷川*> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<伊里前川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<港川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<稲淵川> ・堤防整備	継続実施		◎		
<桜川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<新井田川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<八幡川> ・堤防整備	継続実施		◎		
<水尻川> ・堤防整備	継続実施		◎		
<折立川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<西戸川> ・堤防整備	継続実施		◎		
<三戸辺川> ・堤防整備 ・河道掘削	継続実施		◎		
<長清水川> ・堤防整備	継続実施		◎		

*支川を含む

■危機管理型ハード対策

< 川> ・堤防天端の保護	H29年度からH34年度		—		
< 川> ・堤防天端の保護	H29年度からH34年度		—		

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

水位計の整備	H28年度からH34年度		◎		
雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための簡易水位計、CCTV等の基盤整備	H29年度からH34年度		◎		
庁舎や排水機場等の耐水性の確認・耐水化	H29年度から 順次実施		○	—	—

2)ソフト対策の主な取組 ①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーションの取組

■洪水時等の速やかな情報伝達及び避難計画等に資する取組

避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	H29年度から 順次実施		○	○	
水位周知河川の追加指定	H29年度から 実施		◎		
ホットラインの構築	H29年度から 順次実施		○	○	—
想定最大規模降雨による浸水想定区域図、時系列洪水氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	H29年度から実施		○		
隣接市町村間の避難計画の策定	H29年度から 順次実施			—	—
想定最大規模の洪水での隣接市町村間の避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知	H29年度(県の公表 後)から順次実施			○	○
まるとまちごとハザードマップ整備	H29年度から 順次実施			—	—
ダム情報も含めた防災情報を集約したポータルサイトの整備(宮城県土木部総合情報システムを運用中)	継続実施		◎		
プッシュ型の避難勧告等の情報発信(緊急速報メールや登録制メール、Lアラート等の活用)	継続実施			◎	◎
防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等の配布	継続実施			◎	◎
要配慮者利用施設の管理者への説明会の実施	H28年度から実施		◎		
要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の促進	H29年度から 実施			—	—
気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	H29年度から 実施	◎			

■平時における住民等への周知・防災教育・訓練に関する取組

タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	H29年度から 順次実施	—	○	—	—
気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)【再掲】	H29年度から 実施	◎			
水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	H29年度から 順次実施		—	○	—
小中学校等における水防災教育・出前講座等を活用した講習会等の実施	H29年度から 順次実施	○	○	○	—

2)ソフト対策の主な取組 ②発災時に人命と財産を守る水防活動の強化に関する取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

関係機関が連携した水防訓練・水防団等同士の連絡体制の再確認の実施	H29年度から 順次実施			○	—
水防団等の募集・指定を促進	H29年度から 順次実施			○	—
安全性を十分に確保した上での夜間の急激な水位上昇を想定した水防団等への連絡体制の検討・構築	H29年度から 順次実施			—	—
重要水防箇所の合同巡視	継続実施		○	—	—
水防資機材の保有状況の確認	継続実施		◎	◎	—

